



Program

<第1部> 現代・欧州の響き

私たちのレパートリーの中心ともいえる「合唱大国」ハンガリーの他、ノルウェーやイタリアの作曲家による、比較的新しい作品を集めました。ラテン語で歌われる宗教色のあるものから、民族色のあるものまで、モダンでありながら、どこか懐かしさを感じさせる作品の数々です。

●レヴェンデ・ジェンジェシ作曲

Caelum et terra 天と地

●キム・アンドレ・アーネセン作曲

Ave Regina Caelorum めでたし天の女王よ / Ubi caritas et amor 愛と慈しみのあるところ

●ミクローシュ・コチャール作曲

Gyermekkarok Csanadi imere verseire I Tavaszebeaszto 「イムレ・チャナーディの詩による児童合唱曲集 I」から 春の目覚め

●ラヨシュ・パールドシュ作曲

Magos a rutafa ヘンルーダの花が咲いたら

●ジョルジュ・スサンナ作曲

O Sacrum Convivium おお、聖なる饗宴よ

<第2部> 三善晃、土田豊貴の作品を集めて(OG 合同ステージ)

日本の合唱界に多大なる影響を与え、2013年に惜しまれながらこの世を去った三善晃氏と、近年中高生の作品を中心に多くの魅力的な合唱曲を世に送り出している人気作曲家・土田豊貴氏の作品を集めてお届けします。土田豊貴氏には、今回、私たちのために新たな作品を作っていただくという機会を得ることができました。委嘱作品を初演できることの喜びを胸に、心を込めて演奏します。

●三善晃作曲

女声合唱曲集「木とともに 人とともに」から 木とともに 人とともに

女声合唱曲集「街路灯」から 街路灯

女声合唱とピアノのための「三つの夜想」から III.或る死に

●土田豊貴作曲

うすく溶けるグリーン ~女声合唱とピアノのための~

下弦の月 ~女声合唱とピアノのための~(委嘱作品初演)

<第3部> ミュージカル「アラジン」

「千夜一夜物語」の中のひとつの物語「アラジンと魔法のランプ」を原案として、1992年にディズニーによって制作されたアニメーション映画「アラジン」は、世代を超え多くの人々に愛されている作品です。2014年にはブロードウェイにてミュージカル化、翌年には日本でも劇団四季による上演が開始され、現在もロングラン上演が続いています。また2017年には、実写版映画にリメイクされ注目を集めました。わが団としてのこの作品の上演は2回目となりますが、今回は新たな曲を加え、脚本・演出も一新いたしました。登場人物それぞれの求める「自由」を軸に、愛と友情が描かれたストーリーを、皆様の想いと重ね合わせながらご覧いただけたら幸いです。

< Story >

砂漠の王国で盗みを働きながら自由気ままな毎日を送る青年アラジン。生活は貧しかったが、その心はダイヤモンドの原石のように清らかだった。そんなアラジンはある日、市場で泥棒の疑いをかけられていた若い女性を助ける。実は彼女は王宮をこっそり抜け出してきた王女、ジャスミンだった。互いに惹かれ合う2人だったが、王位を狙う国務大臣、ジャファアの魔の手がアラジンに迫る…!

